

1. 職名・氏名 准教授・渡邊敏生

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 神戸大学、授与年月 2005年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ミクロ経済学Ⅰ（2単位） 1年生（2017年度～）	
②内容・ねらい（自由記述） ミクロ経済学の基礎を学ぶ。家計の買い物の仕方や企業の生産活動について経済学ではどのようにアプローチするのか学習していく。主に、完全競争市場を講義。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） オリジナル・テキストを用意して講義をしている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。全10講で宿題プリントは10枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違いやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ミクロ経済学Ⅱ（2単位） 1年生（2017年度～）	
②内容・ねらい（自由記述） ミクロ経済学Ⅰを踏まえて、有限の資源が市場を通じた経済活動の中でどのように配分されるかを学習していく。主に、一般均衡分析、市場の失敗（独占、寡占、外部性）、期待効用などを講義。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） オリジナル・テキストを用意して講義をしている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。全10講で宿題プリントは7枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違いやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 経済数学（2単位） 1年生	
②内容・ねらい（自由記述） 経済学や経営学を学んでいく上で役に立つ基本的な数学のスキルや思考法を学ぶ。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） オリジナル・テキストを用意して講義を行っている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。2019年度から「行列」を講義し始めた。全10講で宿題プリントは10枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違いやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎ゼミ（2単位） 2年生（2018年度～）	
②内容・ねらい（自由記述） テキストを正確に読み、文章をまとめる力を身につける。内容をパワーポイントにまとめて、個人単位で発表していく。	

<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 新書レベルの学術書を輪読していく。個人で理解できなかったところを伝え、また、友人が誤って解釈をしたところを指摘し、履修者全員で正確にテキストを読む力を向上させていく。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書購読（2単位 毎年開講） 2年生（2017年度～）</p>
<p>②内容・ねらい（自由記述） 経済学や経営学を学んでいく上で役に立つ専門用語や思考法について英語および日本語で学ぶ。英語の構文を正確に理解して、海外の文献を明瞭な日本語に訳していく。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 学生の学力（英語の読解力）に合わせて教材（テキスト）を用意。各国の財政問題（社会保障の問題）や起業家のスピーチを英文で読んだ。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 特別企画講座A「ケーススタディで学ぶ労働組合」（2単位） 2年生（2017年度～）</p>
<p>②内容・ねらい（自由記述） 連合福井による寄付講座。①労働市場における現状・課題（非正規雇用の拡大・低賃金・労働条件の悪化）②従業員の権利と義務③労働組合の役割について学んでいく。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 多様なゲスト講師陣によるオムニバス講義。内容は、具体的事例に沿った「ケーススタディ」となっている。授業時間90分を、講義60分と質疑応答の30分に分け、講義の疑問と感想を学生に提出してもらう。回答は次回の講義で行う。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅰ（4単位 毎年開講） 3年生（2018年度～）</p>
<p>②内容・ねらい（自由記述） 「福井・日本・世界」の経済や産業の動向を把握し、マクロ・ミクロの視点から、現在、抱えている問題点を発見していく。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 文献を読み、まとめたものを個人でプレゼンテーションしていく。学生には、発表内容を「イントロダクション」、「展開」、「結論」の3つのパートを分け、それぞれを意識して発表するように指導した。発表する力、質問する力を鍛えた。また、2019年度は、フィールドワークとして長野（山間の村）に行き、地方の現状や地域の活性化について調査した。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ（4単位 毎年開講） 4年生（2019年度～）</p>
<p>②内容・ねらい（自由記述） 「福井・日本・世界」の社会や経済の動き、産業の動向を把握し、マクロ・ミクロの視点から、現在、抱えている問題点を発見する。自分でテーマを決め、卒論を執筆する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 各自が卒論のテーマに沿った文献を読み、ゼミ生の前でプレゼンテーション（発表）していく。卒論のテーマを5月下旬に決め、夏休み前に中間報告会を実施した。後期のゼミでは原稿の執筆と発表を同時に行い、12月下旬を初稿の提出締切とした。年末年始に添削を行い、学生はそれを踏まえて、完成原稿を1月中旬に提出した。</p>
<p>(2)非常勤講師担当科目</p>
<p>①担当科目名（単位数） 開講学校名 経済学入門（2単位） 甲南大学・マネジメント創造学部（2017年度）</p>
<p>②内容・ねらい（自由記述） マクロ経済学の基礎を身に着ける。</p>

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
オリジナル・テキストを作成。宿題プリント（10枚）を配布。中間テストを実施して理解を促した。

(3)その他の教育活動

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

①論文

（タイトル、共著者の有無（共著の場合は主たる担当箇所について）、掲載雑誌名（号数）、掲載（受理）年月日）

②著書

（タイトル、共著者の有無（共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ）、出版年、出版社名）

③学会報告等

（タイトル、報告学会（大会）名（開催年月日）、共同報告者の有無（共同報告の場合は主たる担当箇所））

④その他の公表実績

(2)学会活動等

学会でのコメンテーター、司会活動（担当報告名、担当学会（大会）名（開催年月日））
所属している各学会から査読を依頼され、合わせて3本の論文の審査を行った（2019年度）。

学会での役職など（学会名）

学会・分科会の開催運営（担当学会（大会）名（開催年月日）、開催場所）

(3)研究会活動等

①その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））

- ・成長・分配・格差の中長期マクロ研究会(2017年度～2018年度)
- ・現代社会研究会
- ・KMSG 神戸マクロ経済学研究会

②その活動による成果

- ・2本のワーキングペーパーを作成した。ともに国際雑誌に投稿中。

(4)外部資金・競争的資金獲得実績

(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時） ・入試説明会：丹生高校(2018年8月)、羽水高校（2019年7月） ・大学出張講義：丸岡高校(2018年10月)、丹生地区中高一貫セミナー（2019年12月） ・SSH 事業のフォローアップ講義（国際教養ゼミを担当）：藤島高校（2019年12月）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） （活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動 （名称、期間） ・オープンキャンパス運営委員、学生相談委員（2017年度） ・経済学部カリキュラム検討WG、新入生オリエンテーション運営委員、学生相談委員（2018年度） ・新入生オリエンテーション運営委員、学生相談委員（2019年度）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など